

暗唱聖句 「なぜなら、わたしたちは、人が義とされるのは律法の行いによるのではなく、信仰によると考えるからです」 ローマ3：28

今週の聖句 ローマ3：19～28

今週の研究：今週から、「ローマ信徒への手紙」の基礎的な主題である「信仰による義認」について学びます。

私たちが「信仰によって」イエスの義を受けいれるとき、イエスの義が私たちのものとなります。私たちの過去がどうであれ、イエスの義が私たちのものになります。私たちの過去がどうであれ、イエスの義によって受けいれるとき、私たちは私たちを救うことのできるただ一つの義、イエスの義によって神の前に立つのです。

日曜日：律法のしたにあることは、律法の支配下にあることを意味します。しかしながら律法は神の前における人間の欠点と罪責を明らかにします。律法はこの罪責を取り除くことができません。律法にできることは、罪人を導いて、罪の解決法を求めさせることです。

「ローマの信徒への手紙」をユダヤ人の律法が機能を失った現代に適用するとき、律法は特に道德律を意味すると考えられます。ユダヤ教の制度がユダヤ人を救うことができないのと同様に、この律法は私たちを救うことができません。罪人を救うことは道德律の機能ではありません。道德律の機能は神の品性を現すこと、また人間がどんな点で神の品性を反映することができないかを示すことです。

月曜日：イエス・キリストの信仰（ロマ3：22英語、聖書参照）とは、イエス・キリストを信じる信仰のことです。この信仰がクリスチャンのうちに働くとき、それは知的な同意以上のものとなります。それは、単にキリストの生涯と死とについての事実を認めること以上のものです。むしろ、イエス・キリストを信じる真の信仰とは、キリストを救い主、身代わり、保証、主として受けいれることです。それはイエスの生き方を選択することです。それはイエスに信頼し、信仰によってイエスの戒めに従って生きようとすることです。

木曜日：律法の行いは過去の罪を贖うことができません。義認は自力では獲得することができません。それはキリストの贖いの犠牲を信じる信仰によってのみ受けることができます。私たちのうちに義認に

値するものが何ひとつなくても、キリストへの信仰によって義とされるという意味です。

しかし、多くのクリスチャンがこの聖句（ロマ3：28）を誤解し、誤って適用しています。彼らは、行いと神への従順、さらには道德律の遵守すら軽視し人のなすべきことはただ信じることだけである、と言います。それによって、彼らは完全にパウロの言葉を誤って解釈しています。

パウロが強調しているのは、律法に対する従順は義認の手段ではないということです。信仰によって義とされた人はなお神の律法を守るし、義とされていない馬鹿ながらの人は決して律法の要求を満たすことができません。

今週、韓国から元死刑囚の女性が来日して話題となっています。彼女の責任だけとは言えない事件ですが、多くの犠牲者を生んだ事件の当事者で、死刑判決を受けましたが恩赦を受け、その後神さまとも出会い、事件を悔いて祈りつつある毎日と聞いています。

今週の学びは、ローマ信徒への手紙の主題に入っていきます。信仰による義認について学びます。

この元死刑囚の女性のように、裁判において罪が確定して死刑となったとしても、それを国家が執行せずに恩赦を与えれば、生きることがゆるされます。

わたしたちもまさにこれと同じ状態なのではないでしょうか。わたしたちが何か善いことをしたから罪が赦されたのではなく、イエス・キリストの十字架を信じてすがったから、神さまから赦しを与えられました。ここに至るまで、わたしたちがすることは、十字架にすがることを救い的手段として選ぶだけです。

問題は、ゆるされたわたしたちはどうするでしょうか。どうすべきでしょうか。神さまはどのような生き方を期待しているのでしょうか。これが今週の学びのポイントです。

元死刑囚の女性が、仮にもといた国家や組織を礼賛しつづけたら、恩赦は認められるでしょうか。彼女が罪を認めて回心したからこそ、そしてその後の生き方が変わらなければ、どのような他の思惑があったにせよ、恩赦は認められなかったでしょう。

わたしたちは、赦されるために善い行いが義務のようなことを教えているわけではありません。

赦しを求めるということは、自分たちの今までしていることから救い的手段が見つけれないから、神さまのもとへ向かうのです。そして神さまを主人、新しい親として信頼して従うとしたら、その神さまがお喜びになる生き方をするのは当然のことではないでしょうか。

わたしたちは、神さまのこどもとしてふさわしい歩みをしたいものです。それにより、まずわたしたちが幸せな人生を歩むことができ、そして多くの方々が、神さまに従う生き方が幸せな歩みであることを、生活をもってあかしすることができるのです。